

イノベーションを起こす中心市街地活性化策 (事例: 飯田市のりんご並木まちづくりネットワーク)

飯田の街中の賑い創出にみるクリエイティビティの発現



りんご並木
(飯田のまちづくりの原点)



中心市街地の再開発
(りんご並木周辺の空間整備)

りんご並木まちづくり
ネットワーク

ネットワーク運営の原則
自主性
皆が協力していこう

共創の場

人形劇のまちづくり
人形劇カーニバル

人形劇フェスタ
(日本最大の人形の
祭典へ発展)

丘のまちフェスティバル
国際フィギュアマーケット
(サブカルチャーの祭典として発展)

痛車
展示

痛タク
街中のタクシー会社
全6社が協働



(参考) りんご並木(飯田のまちづくりの原点)

昭和22年飯田大火

- ・ 3577戸を消失
- ・ 市街地の2/3を消失
- ・ 約72ヘクタールの
区画整理を実施



りんご並木の誕生

- ・ 大火後の昭和28年、地元中学校生徒たちが「自分たちの手で美しい街をつくらう」という夢を抱き、40本のりんご並木を植樹



りんご並木のもたらしたものの

- ・ 地域に対する誇り
- ・ 「自らのまちを自らで守り育てる」
- ・ 「まちづくりの基本精神」

【りんご並木の変遷】



区画整理実施後
(昭和27年)



昭和60年頃



現在

(参考) 中心市街地の再開発

活性化の取組 まちなか居住の推進と複合機能の整備

- ・子どもから高齢者まで 様々な世代が主体的に活動できる
- ・まちの機能を活かして、それぞれのライフステージに応じた暮らしや活動ができる

モーニング・ウォーク



オープンカフェ



市民サロン (学習の場)



動物園



フィールド スタディ



まつり



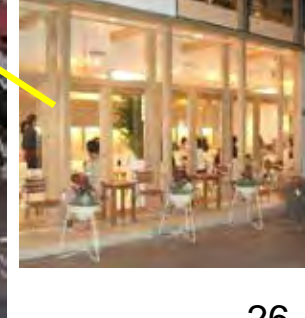
足湯



電動小型バス



域産域消レストラン



(参考) 人形劇のまちづくり

刻まれた300年の歴史

かつて伊那谷には29の人形座があった。
現在、伊那谷に4座(飯田市に2座)が伝承。
人形師を迎え入れて、技術を高めた。



在銘最古のかしら



黒田人形
(国指定重要無形文化財)

人形を常設展示する地域人形劇センター

川本喜八郎人形美術館

平成19年3月オープン
人形美術家川本喜八郎氏は「この飯田の地こそ人形たちに一番ふさわしい場所」と語り、人形200体余を寄贈。

人形劇センターの設置

「小さな世界都市」の実現に向け、人形劇に関わる多様な主体への専門的な支援(人形劇文化向上への貢献)



川本喜八郎作
「諸葛亮孔明」

国内最大の人形劇の祭典 今年38回目を開催

いいだ人形劇フェスタ

1979年(国際児童年)「人形劇カーニバル飯田」として第1回開催
1999年 市民主体(実行委員会)の「いいだ人形劇フェスタ」になる【フェスタ2015の実績】

- 観劇者数 : 40,575人
- 参加数 : 326劇団(劇人1,745名)
- 公演数 : 457公演
- ボランティア数 : 2,245人



いいだ人形劇フェスタ

(参考) りんご並木まちづくりネットワーク



りんご並木活性化事業
(歩行者天国 3月～11月に月1回開催)
りんご並木まちづくりネットワーク
(所属団体約30団体)



(参考) 丘のまちフェスティバル

11/3 AM 11:00 PM 4:00

第10回 飯田丘のまちフェスティバル

2016 10周年

会場：少年宮本館（本町1丁目、館内1-4丁目）
 長久町1丁目、中央通り1-4丁目、中央公園（本町1丁目、飯田町公民館）

イメージソング発表!!
 正午 メインステージにて

コスプレ大賞!!

インターネットマイカーマーケット

三信南信グルメサミット (しんせいのり)

80%

http://mamiyachan.com

- 平成19年に「人形劇のまち飯田」にちなみ、フィギュアをテーマにしたフリーマーケットを開催。
- その後、南信州ご当地グルメ、コスプレ・痛車などのサブカルチャーのイベントも加わり、「飯田丘のまちフェスティバル」として、毎年30,000人を超える来場者でにぎわっている。



(余談) 飯田でタクシーを呼ぶ時、「痛タクで」と言うと…



自立志向のクリエイティブ・コミュニティ の創出に向けて

2030年 誰もが認める「善い地域」創出へ

◎右肩下がりの時代 → ◎新しいライフスタイルの模索

飯田の合計特殊出生率（2014）



「善い地域」の重要な要素

QOL (Quality of Life)
= 生活の質

- ◆ 可処分所得と可処分時間
- ◆ 命の質
- ◆ 人生の質



QOC (Quality of Community)
= コミュニティの質

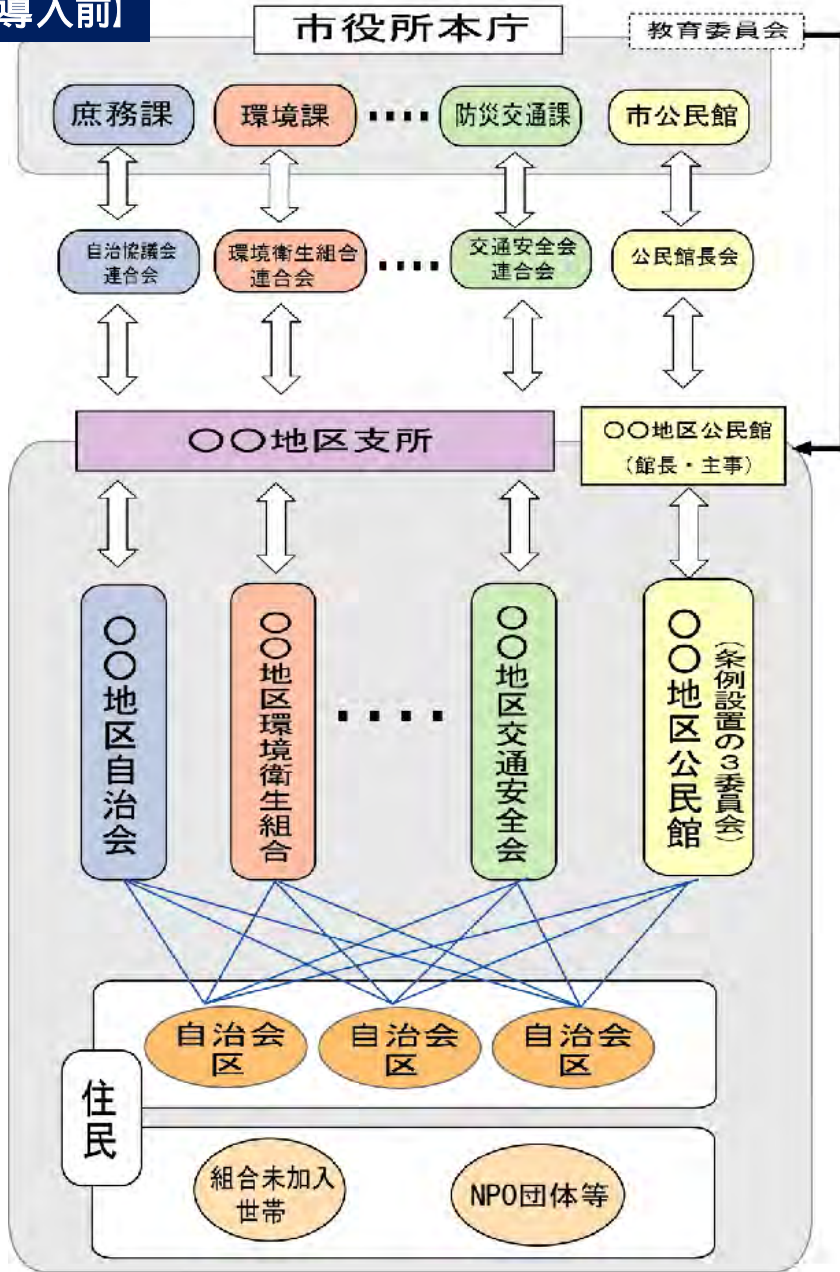
地域コミュニティの質を上げる3要素

- ① 主体的参画
- ② 自治性
- ③ 価値観の共有

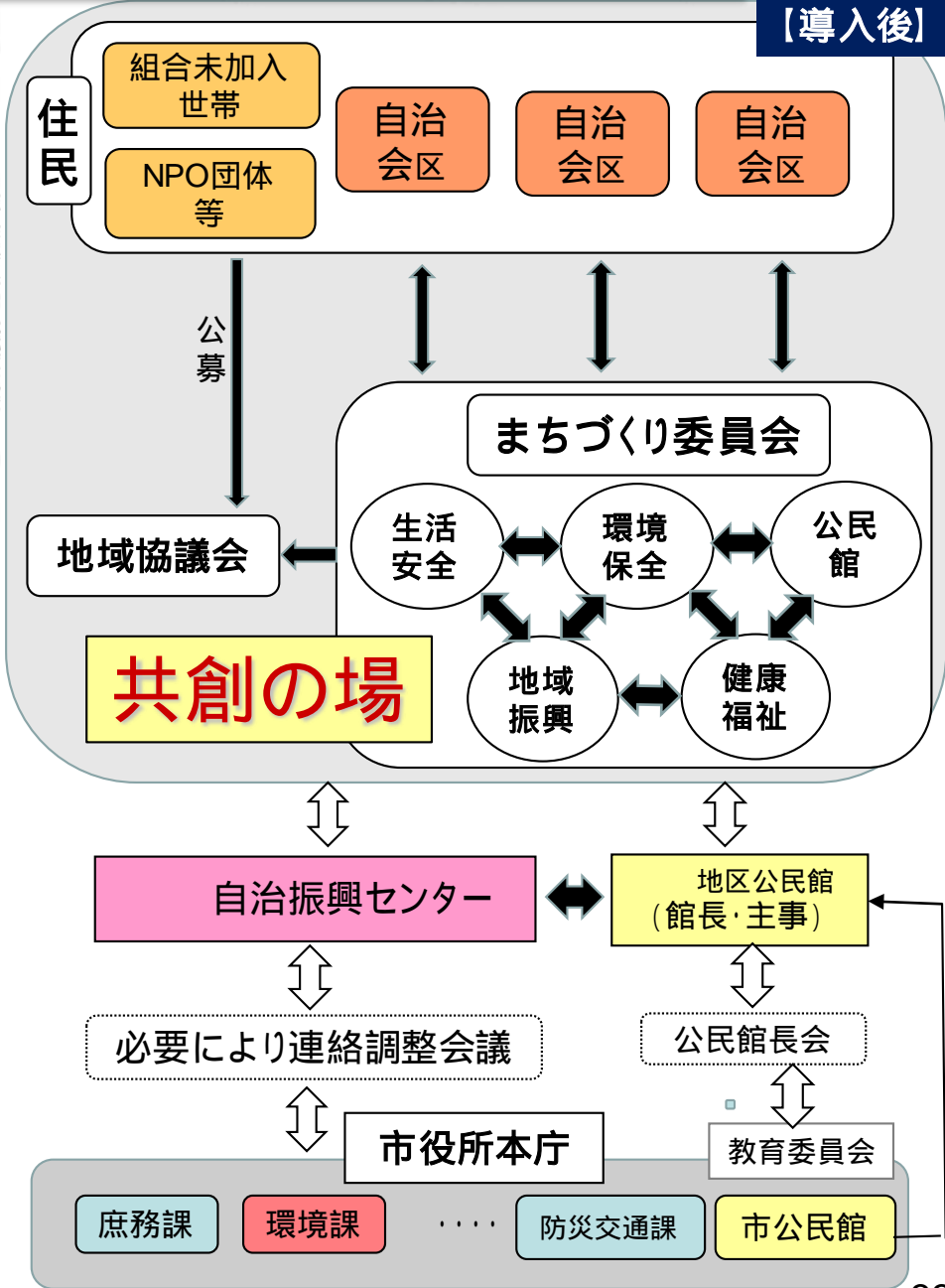


地域自治組織の再構築 ~ 「トップダウン」から「ボトムアップ」へ

【導入前】



【導入後】



QOCの向上①主体的参画 事例：市政懇談会

市長と市民が一堂に会し、市長自らが、市政経営の考え方や市政の重要課題を広く市民に語るとともに、地域の課題や市民の皆さんの思いを一緒に考え、意見交換する場

Before

行政への要望の機会（要望・陳情）であり、参加者は自治会の役員中心

あり方
の変化

After

行政への提案が増えた
（行政も一緒に〇〇してほしい）
幅広い世代の参加者が増えた
（小・中学生や若者といった地域の将来を担う人材）

提案・協働



QOCの向上 自治性 事例：菱田春草生誕地公園整備



菱田春草

明治7年仲ノ町
に生まれる



菊慈童

飯田市美術博
物館所蔵

- H22年 市政懇談会で公園化を提案
橋北地区で署名実施 7割同意
- H23年 「菱田春草誕生の地」整備を願う
市民の会設立 募金活動開始
市と橋北まちづくり委員会で
パートナーシップ協定締結
- H26年 公園工事実施
- H27年 「春草公園を愛する会」管理・活用

生誕地には塀と看板があるだけで
あまりにさみしい
春草を顕彰する公園の整備を



横山大観書のモニュメント

平成27年
3月29日
開園

地区住民自らが地域をデザインする地区基本構想を策定 20地区中17地区で制定 1地区策定中(平成29年度中)

- 地域住民自らが、地域の将来像を共有し、その実現に向けた構想・計画を策定
- 各地区の基本基想に基づき、地域の特色を活かしつつ、多様な主体の協働による様々な取組を通じて、将来像の実現を目指す



地域自治組織から創発するイノベーションの事例



**社会福祉法人
千代しゃくなげの会**
(H17.10.12 県知事認可)

< 千代しゃくなげの会基本理念のポイント >

- 1 地区一人一人が直接的又は間接的に運用に関与
- 2 地域の子どもやお年寄り地域で守り育てる



千代保育園 千栄分園

●平成24年度、25年度の2年連続
50名を超えたため、26年度は定員
を45名から60名に変更

園児数の推移

	17	18	19	20	21	22	23	24	25
千代 (3歳以上)	36	31	31	25	22	23	24	28	28
千代 (3歳未満)			3	3	6	8	12	14	17
千栄	6	11	12	16	14	12	9	11	12
総合計	42	42	46	44	42	43	45	63	57



飯田市千代デイサービスセンター「しゃくなげの郷」
通所デイサービス 定員15名